

# 保護犬譲渡活動レポート Vol. 2

つぎの  
100頭へ



**累計100頭の譲渡を達成  
これから の目標は “毎月100頭”**

ペツツファーストが保護犬の譲渡活動を始めたのは、2013年3月。最初は「保護犬ってなに?」「なぜペットショップに保護犬が?」という声が多く、まずは現状や目的について、説明を尽くすことから始めました。そして少しずつ実施店舗を増やし、2015年1月には、一つの目標であった累計100頭の譲渡を達成しました。今では「次の保護犬はいつ来るの?」と楽しみに待っているお客様もいるほど、保護犬へのご理解、ご支援の輪が広がっています。

次の目標は、「毎月100頭の譲渡」です。保護犬と出会い、保護犬と暮らすことが、自然な選択肢の一つとして認知されいくよう、活動を続けていきます。



## 里親さん Interview

山本 潔さん 景子さん  
ご夫婦  
パスタ君  
ヨークシャーテリア♂  
推定 6歳

### 先代犬の小次郎と、突然の別れ

パスタに出会う前、我が家には12歳になるパピヨンの小次郎がいました。娘の高校入学と同時に飼い始めたのですが、一緒に暮らす12年の間に、子どもたちも成長して社会人になり、自立してきました。夫婦2人と1匹の生活が当たり前になり、明るくて利発な小次郎の存在は、一層大切なものになっていきました。

しかし2014年1月、小次郎は12歳で突然この世を去りました。亡くなる数日前まで元気だったので、なかなか心の整理ができず、想像以上に苦しいペットロスを経験しました。そして半年以上が過ぎ、徐々に気持ちも落ちてきました2014年の9月頃、吉祥寺のペットショップで出会ったのが、パスタでした。

### 穏やかな性格と、成犬らしい落ち着きに一目惚れ

もしました犬を飼うならパピヨンだと考えていましたが、里親募集していたパスタに気付いた瞬間、釘づけになってしまいました。過去の飼育環境は分かりませんが、抱っこしている間も大人しく、ケージに戻してもそっと寄ってくるパスタに、完全に一目惚れしました。子犬を育てるには飼い主にも体力が必要だし、落ちている成犬を飼うのも良いね、と妻と話し合い、出会ったその日に連れて帰りました。

被災犬のニュースや知人の話を通じて、保護犬の存在は以前から知っていました。でも「保護犬だから」パスタを引き取ったのではなく、性格や雰囲気が我が家に合ひそうだと感じたのが一番の理由です。自分に合う子と巡り合えるか、犬を飼う上では大切だと思います。

### 小次郎とは違う、パスタにはパスタの良さがある

先代の小次郎は食いしん坊で活発な子でしたが、パスタはその正反対。無駄吠えせず、食も細いので、あまりのギャップに最初は物足りなさを感じるほどでした。心の傷や人間への不信感があるのかと心配しましたが、徐々にこれがパスタのベースなんだ分かりました。今も変わらず控えめですが、私が移動するとき



小次郎君と仲良しだった、ご近所のマロンちゃん。今ではパスタ君とも一緒に散歩する仲に



いつもお父さんにべったり。マフラーを巻いてもらって嬉しい



抱っこも好きだけど、公園で走るのも大好き。夢中になつて走り続ける

里親になることを決めた経緯や、ご自宅での様子、お迎えして良かったこと、困ったことなどをうかがいました。

竹田 久実さん  
アネラ君  
トイプードル♂  
推定 7歳



### 愛犬が急死し、家にこもりがちになった父のために

20年前にゴールデンレトリバーを飼い始めて以来、ずっと犬や猫に囲まれた環境で暮らしてきました。アネラを迎える少し前までは犬が3頭いて、家中はいつも賑やかでした。動物好きな父にとっては、犬の散歩を通じて季節の変化を感じたり、近隣の方と会話したりと、犬の存在が良い潤滑油になっていました。

しかし、2013年3月に1頭が老衰で亡くなり、その後1ヶ月後にはもう1頭が急死。残された1頭も、老犬なのであまり散歩に行けず、父も外出が減り、家にこもりがちになっていきました。とはいえ、また子犬を迎えて育てるのは大変だし…と考えていたところ、たまたま立ち寄った吉祥寺で、アネラに出会いました。

### 先住犬、先住猫との関係も良好

ペットショップで最初にアネラを見た時は、「スタンダードプードルの子犬かな?」と思いました(笑)。でもよく見たら里親募集と書いてあって…抱っこしたら、そのまま腕の中で寝てしまい、あまりの大人しさに驚きました。小型犬なら散歩もしやすいし、父が外に出る後押しになるかもと思い、すぐお迎えを決めました。

先住猫とはお互いにあまり興味がないようで、初顔合わせは問題なく終了しました。今もほどよい距離感を保ちながら、時々一緒に暖かい場所で寝ています。たまに猫を踏んづけて、怒られていることもあります(笑)。昨年9月に亡くなった先住犬も、アネラが構いすぎて怒ることもありましたが、若さに触発されて、晩年は一緒に散歩に行くほど元気になりました。

### 散歩仲間になったアネラと父

これまで老犬中心の緩やかな生活でしたが、アネラの散歩をきっかけに、父も私も外出が増えました。家から吉祥寺まで50分かけて、長い散歩をすることもあります。最近はリードを見せると自分から頭を入れて、「早く行こう!」とせかしてきます。

我が家では父が一番の動物好きで、アネラのこと

も一番甘やかしています。そのせいか父に対しては強気で、急に動くと怒ったり、要求吠えもしますが、私が仕事でいない時は一緒に寝ているようです。家長というより、散歩仲間と思われているみたいですが、アネラが来て明るくなった父の変化を見ていると、お迎えして良かったなと思います。

### 過去は分からぬけど、今を楽しく過ごせるように

最初は何が好きで何が苦手か分からないのが、保護犬の難しいところですね。少しづつですが、男の人が苦手で、階段を登れない、お手やお座りはできない、トイレの駒けはできていなかったのでマナーベルトで対策、などのいろんな癖や個性が分かってきたので、無理強いはせず、アネラのペースに合わせて過ごしています。

トラウマから急に噛む可能性なども心配しましたが、特に問題行動は見られず、病院やトリミングでも良い子にしています。近所の子ども達からも人気者で、引き取った経緯を説明する驚かされることもありますが、「それでもいい」と言って可愛がってくれています。他の犬に対しても、最初は遠慮があったみたいですが、今は積極的に遊びに誘うようになり、犬同士のコミュニケーションも楽しんでいます。

### 出会えたことに感謝し、責任をもって大事にする

アネラは、ハワイ語で「天使」という意味です。ご飯よりも人に構ってもらうのが好きで、人を追いかけるのに夢中で畠に落ちたこともあります(笑)。抱っここのまま居眠りすることもしそう。朝は5時半頃からアネラに起こされて大変ですが、甘えん坊なところが可愛くて、アネラに会えて本当に幸せです。

元々目が少し悪く、暗がりで何度か電柱にぶつかることがありました。日常生活は問題なく過ごしています。歯はあまり手をかけてもらえてなかったのか、かなり悪い状態だったので、抜歯しました。これから年を重ねていくにあたって、さまざまな体調の変化に気を付けながら、責任を持って大事にしていきたいと思います。



よく仰向くなったり、足をピーンと伸ばして寝ているそよ洋服も嫌がらずに着てくれる



赤ちゃんのような体制でウトウト。外出先でもすぐこの体制になるので、道行く人に声をかけられる



シャンプー中もおりこうさん。濡れると足の短さが目立つため、ダックスが混ざってる?と言われることも

# 保護犬 Q&A

保護犬の飼育を検討されるお客様から、特に多いご質問について回答します。

## ►► Q1 なんで保護犬になってしまったの？

A 放浪中に保護されたり、飼い主に依頼されて引き取ったりと、様々なケースがありますが、手放した理由までは分からぬ場合が大半です。人に馴れている子、怖がりな子、皮膚の状態が悪い子など、保護した時の様子から、これまでの飼育環境を察することはできます。



人馴れしておらず、極度に怖がりな子もいる

## ►► Q2 健康状態に問題はない？

A 獣医師が全頭の健康状態をチェックし、ウイルス検査やワクチン接種、駆虫を行っています。経過観察中の症状や治療中の病気については、必要な処置を行なながら、経過を記録しています。ただし保護前の治療歴は分からぬ場合が多く、将来的な病気のリスクは不透明です。



現在分かっている症状については、紹介カードで公開

## ►► Q3 一人暮らしでも里親になれる？年齢制限は？

A 一人暮らしの方、60歳以上の方については、万が一飼育が困難になった時のために、保証人が必要です。18歳未満の方は、保護者の同意を書面で提出いただく必要があります。保証人などの条件を満たしており、責任をもって飼える方であれば、譲渡できます。

## ►► Q4 しつけはできている？

A 成犬で落ち着いている子が多いいため、子犬よりも手はかかりにくい場合が多いです。ただし性格はほぼ固まっており、トイレや食事などは、癖や好き嫌いがあります。長年の癖や嗜好を直すことは難しい場合が多いので、ひとつの個性として受け入れてあげることが大切です。



ふせ、お座り、お手など最初からできる子も

## ►► Q5 先住犬、先住猫がいても大丈夫？

A 犬は群れで生活するので、問題ありません。ただし、急に対面させるとお互いに威嚇したり、怯えてしまったり、猫の場合は神経質になる可能性があります。最初は部屋やサークルを分け、少しづつ臭いや存在に慣れさせていくべきです。

## ►► Q6 保護犬はなついてくれる？

A 人懐こい子、警戒心が強い子など性格は様々ですが、これまで寂しい思いをしてきた分、信頼できる人だと認識すれば、一生懸命甘えてくる子がほとんどです。愛情を注いだ分だけ心を開いてくれるので、大らかな気持ちは根気よく向き合ってあげてください。



取材協力いただいた竹田様とアネラ君のオフショット

## 活動実施店舗 (13 店舗)

東京都 青山店 / 自由が丘店 / 広尾店 / 麻布十番店 / 吉祥寺店 / 上野店 / 町田店 / 武蔵小山店

埼玉県 川越店 千葉県 流山おおたかの森店 神奈川県 横浜元町店 / 川崎店 京都府 京都店



facebook でも情報発信中！

ペツツファーストの公式フェイスブックページでも、新しい保護犬の入舎情報を投稿しています。

マイクロチップ無償装着会の開催や、新店オープンについてもお知らせしているので、

ぜひ最新情報をチェックしてください！

<https://www.facebook.com/psfirst>

